

# JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



# 新年を迎えて

しずない農業協同組合 代表理事組合長 片岡 博



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、御家族とともにご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当組合の事業運営に対し、ご協力とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は中国の武漢市において初めて確認された新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、日本経済のみならず、世界経済に大きな影響を与えた1年となりました。なお、昨年度の世界GDP成長率はマイナス4.4%の見通し予想と発表され、これは2008年のリーマンショックを遥かに超える値となっております。

この影響は農業情勢においても例外なく、各国における強固なロックダウン措置によりインバウンド需要の激減、国内においても緊急事態宣言が発令され、学校の休校、飲食店等への休業要請、不要不急の外出の自粛に伴い農産物の価格に大きな影響を与えました。

当組合の基幹作物の1つである黒毛和牛においてはその影響が特に大きく、直近3ヶ年の枝肉相場は去勢A15等級1kgで2600円台で推移していたのですが、昨年3月から下落を始め、4月には1600円台となり、それに伴ってホクレン北海道市場の素牛平均購買価格は去勢で74万円、メスで64万円と、昨年比較で10万円程度の安値で推移しています。枝肉相場は回復の兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症が再度拡大してきている中で、市場動向は非常に不透明となっております。当組合の年間の販売金額は5億8千万円となっております。購買者のニーズに答え、販売価格を維持するために、高齢牛の

淘汰更新を積極的に進め、優良母系牛群の形成を進めてまいります。

昨年の他の農作物の状況として、水稲は日高管内は106の「良」でありました。春先はやや気温の低い日もありましたが概ね天候に恵まれました。7月、8月の稲穂が実る時期に天候不順が続き、収量、品質の面での不安がありました。品質な米を収穫することが出来ませんでした。また、昨年度も純米吟醸酒「海桜丸」を醸造し、辛口に仕上がったフルーティーで豊かな味わいで、多くの町民の皆様にご愛飲頂いております。

ミニトマトは促成栽培については4月頃の曇天、7月、8月の天候不順により果実が肥大せず収量が確保できず、抑制栽培への切り替えの時期には気温が30℃近い日が続いたため、高温障害による着果不良で収量が減少し、kg単価こそ昨年の660円より9円高い669円だったものの、通年を通して収量が確保できませんでした。取扱金額は8億3千万円となり、青果全体では9億4千万円となりました。

本年も1組の新規就農者の参入

が予定されており、ミニトマト部会が目標として掲げる10億円を目指して参ります。

酪農については、コロナ禍において学校の休校により給食への提供が出来ない状況が続いておりましたが、販売金額に大きな影響が出ることなく、乳価は98円と高い水準で推移し、販売金額は一昨年を超える3億7千万円の取扱実績でした。

基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数及び販売金額が、411頭、40億6千万円で昨年より14頭、3億円の増加となり、平均販売価格は41万円増加の987万9千円となりました。北海道市場では、このコロナ禍において市場開催が危ぶまれる状況もありましたが、新型コロナウイルス感染症対策を行い、トレーニングセールこそ中止となったものの、他の市場については例年同様開催することが出来ました。総売上は過去最高の120億円を超える結果であり、活気に満ち溢れる一年となりました。

また、昨年は11月3日に東京都大井競馬場で開催された「第20回JBCスプリント競走」で(有)藤沢牧場生産のサブノジュニア号が

2着馬を1馬身以上離す力強い末脚で見事、G1初勝利を挙げました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

このコロナ禍において様々な行事が中止を余儀なくされましたが、今出来ることの中で、毎年10月に開催されているしずない農業まつりは、代わりに特別栽培米「万馬券」の新米を含む取り纏め販売を行わせていただきました。青年部は食育出前授業の代わりにポスター作製、ミニトマトの紹介動画の作成など、女性部は町の医療を支えて頂いている医療機関へミニトマト「太陽の瞳」の寄付を行っております。

最後に、昨年1月12日に信用事業をJA北海道信連へ譲渡し、組合員の皆様には大変ご心配をおかけしましたが代理店業務を無事執行することが出来ました。専門農協としての新たな船出から農協運営の基本となる賦課金の負担についてご理解いただき、営農指導事業、産業奨励事業に取り組んでおります。また、組合員の皆様の不足する労働力の確保を目的とし、農作業パートを斡旋する無料職業紹介所を開設いたしました。

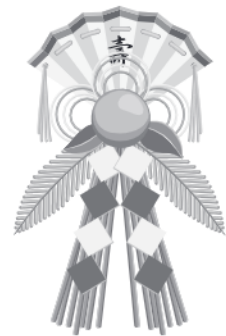
農畜産物販売手数料率の改定に

についても、人口減や組合員戸数の減少によって今まで通りの事業運営が難しくなってきた中で、農業協同組合の最初の設立目的である相互扶助の観点から事業を支えていくためであり、皆様にはご理解・ご協力を戴きまして改めて深く感謝申し上げますとともに、今後もより良いサービスを提供できまますよう努めてまいりますので、更なるご協力・ご利用の程お願い申し上げます。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表理事組合長

片岡 博

副組合長

西村 和夫

理事

伊藤 佳幸

谷岡 康成

山口 修二

小倉 正信

藤村 英治

理事兼管理部長

大滝 康正

代表監事

渡辺 隆

監事

野表 忍

金融部長

小川 哲哉

営農部長

丹野 潤一

経済部長

樺田 文明

外職員一同





# 令和3年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会代表理事会長 小野寺 俊幸



新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員並びに役職員の皆様には、  
コロナ禍にあつてもその苦境にも  
負けず、日々営農に更に邁進され  
ておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社  
会の発展に向け、日頃より多大な  
ご尽力をされていることに対し  
ても、改めて敬意と感謝を申し上げ  
る次第であります。

昨年の北海道農業は、米の作況  
指数が106の「良」、畑作物につ  
いては収穫時期に一部地域に降雨  
による影響が見られたものの平年  
並以上の結果となり、生乳も前年  
の実績を超える生産となり、地域  
作目によって違いはありますが概

ね良い出来秋を迎えることが出来  
たと感じております。

しかしながら、昨年は、新型コ  
ロナウイルスとの戦いが長期化し、  
今までの日常とは大きく変化した  
1年でありました。農業分野にお  
いても例外ではなく各種イベント  
の自粛、外食・中食の需要減少等  
の影響により、各作物の更なる需  
給緩和が懸念されているところで  
す。今後は作物ごとの実態を踏ま  
えた、国産・道産農畜産物の需要  
喚起・消費拡大を図るとともに、  
外国人技能実習生が入国できない  
ことにより、農作業の人材確保に  
も大きな影響が出ておりますので、  
北海道、全国連とも連携し、JA  
グループ北海道としてしっかりと  
その対応を図ってまいります。

JAグループ北海道では、昨年  
より道民の皆様に対し北海道農業  
から行動を起こすことで、農業と  
人、農村と都市、生産者と消費者  
の関係のあり方を見つめなおして  
いただくことを目的として「AG  
RI ACTION! HOKKAI

DO (アグリアクション北海道)」  
と題した情報発信を北海道の支援  
もいただき、スタートいたしました。

「AGRI ACTION! HOK  
KAI DO」は次の3つのテーマ  
を伝えることを目的としておりま  
す。

- ① 食料自給率に対する理解促進  
と行動変容の喚起
- ② 農業には多様な働き方がある  
ということの周知とより多くの  
方が農業に携わっていただき、  
将来的に農業を仕事の選択肢と  
して考えてもらうこと（本業以  
外に副業として農業に親しむ人  
々を「パラレルノーカー」と命  
名）
- ③ 日頃から道産農畜産物を食し  
ている道民の皆様に感謝を伝え  
ること

本年は第29回JA北海道大会の  
実践最終年であることから、この  
取組みと協同の力を梃子として  
「農業所得の増大」「多様な担い  
手の確保・育成」「食と農とでつ  
ながるサポーター550万人づく  
り」の目標達成に向けて、実践活  
動を強化してまいります。

結びになりますが、本年は辛丑

年です。牛は古くから酪農や農業  
で人間を助けてくれた大切な動物  
でした。大変な農作業を最後まで  
手伝ってくれる働きぶりから、丑  
年は「我慢（耐える）」、「これか  
ら発展する前触れ」というような  
年になると伝えられております。  
この謂われにあやかり、新型コ  
ロナウイルスの1日も早い克服と  
皆様のご健勝、本年が豊穡の年と  
なりますようご祈念申し上げ、年  
頭のご挨拶いたします。



## 新たな年を迎えて

日高農業改良普及センター 所長 宮町良治



新年あけましておめでとうございませす。皆様におかれましては、新たな年をこ家族と共に健やかに迎えのここと、心よりお慶びを申し上げます。

また、日頃より普及センターの活動に際しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の流行により、日高管内においても様々な業種に大きな影響が及びました。農業分野におきまして、品目によっては需要の減少や価格低迷に悩まされるなど、ご苦労の絶えない一年であったと思ひます。

さて、農耕期間の気象経過を振り返りますと、積雪量が少なかったことで春耕起作業が平年より早く順調に進みました。5、6月は好天に恵まれ日照時間が長かったものの、降水量が少なく乾燥した天候となりました。8月中旬以降も高温傾向で、特に9月中は例年になく残暑が続きました。5月から

10月までの静内アメダスポイントデータによると、積算気温は平年と比べ上回り(106%)、日照時間も多く(108%)、降水量は年間を通じて少なく経過しました(86%)。幸い大きな災害もなく作物全般においては、平年作からやや良好な結果を得ることが出来ました。

明るい話題としては、軽種馬産業において、サラブレッド競り市の年間売却額総額が過去最高額を記録しました。また、ホッカイドウ競馬において、馬券発売額が道営競馬史上の最高額を更新しました。日本中央競馬界においても、日高管内の生産馬が大活躍し、全国ニュースでも数多く取り上げられ、馬産地「日高」の名前が広く伝えられました。

引き続き、コロナウイルスへの対応が見込まれる中、農業・農村を巡る情勢については厳しさが継続する場面が見込まれます。その一方で国産農・畜産物への見直しへの風潮が強まり、自然環境が豊かな北海道への追い風も期待されます。

農業者の皆様の果敢な取り組みと、日高地域の良さを生かした、次世代に繋がる農村・地域づくりのお手伝いを進めて参ります。本年が、皆様にとりましてご健勝で豊穡の年となりますようご祈念申し上げます、新年に当たってのご挨拶といたします。

## 新年を迎えて

J A しずない青年部 部長 福岡駿弥



新年明けましておめでとうございませす。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より当青年部の活動に際しまして、JA しずない役員並びに関係機関の皆様には深いご理解とご協力をいただいております。とに心より感謝を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの世界的な大流行により、あらゆる産業、地域に多大な影響を及ぼし、イベントや冠婚葬祭など様々な社会活動の延期、中止、自粛、規模縮小など、人々の生活が一変した1年でありました。

当青年部の事業におきましても新型コロナウイルス感染症拡大防

止の観点から町内の各小学校を対象とした食育出前授業、ハロウィンイベント等を中止と致しました。

このコロナ禍において私たち青年部が出来ることを考え、町内の各小学校、保育所への野菜の支援活動、ミニトマト紹介動画の作成、生産連ビルの周りをハロウィン用のかぼちゃで飾り付けし、ハロウィン当日の夜にライトアップする等の活動を行いました。

これらの活動を通じてコロナ禍で活動が制限された中でも出来ることはいくらかもあるということを学ぶことが出来ました。

いまだに新型コロナウイルス感染症の終息が見えない厳しい状況ではありますが、今後も青年部一同協力し合い、より一層努力してまいりたいと考えております。

最後に、本年も組合員の皆様を始め、各関係機関の皆様にとつて良い1年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年を迎えて

JAしずない女性部 部長 船越孝子



新年明けましておめでとうございます。  
います。

組合員、各関係機関の皆様におかれましてはご家族お揃いでご健勝且つ輝かしい新年を心新たに迎えられました事を、心よりお慶び申し上げます。日頃より当女性部活動に対し、深いご理解とご協力、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年も天候に左右される中、各業種におかれましてはご苦労されたように思います。私もJAだより11月号を拝見し痛感しております。

女性部活動も2月に無事総会を終えることが出来、安堵しております。2月末には、10月の農業まつりに備え、カボチャはこの

作り方を講習して頂いたり活動に向け準備をしていたところ、新型コロナウイルスによる感染症が発生し、以後感染拡大防止の為、全ての活動を中止せざるをえなくなりました。

コロナ禍で女性部も本来の活動の自粛を余儀なくされましたが、中止となった活動を地域貢献に充てられないものかと役員で話し合い、事務局のアドバイスを頂いたりし、新ひだか町静内地区の9つの病院で働く医療従事者に、ミニトマト「太陽の瞳」を、感謝の気持ちと応援メッセージ、そして女性部もぎたて朝市会のPRも兼ね、印刷物を添え寄贈することとしました。

日頃、私達も地元医療を支える人達にお世話になっている中、地場野菜を送って応援すると共に、野菜の消費拡大を目指したところ、この事に対し病院の方からお礼の文をいただきました。「このようなど支度を頂き当職員にとつて大変な励みであり、今後、より充実した医療活動の力になります。これから全職員が一丸となって、安

心、安全な医療を提供出来る様、努めてまいる所存でございます。」と記してあり、私達の思いを伝える事が出来たことを嬉しく思いました。

良く耳にします「SDGs（国連の持続可能な開発目標）はいずれ社会の常識」「協同組合や女性部活動は事業自体がSDGsと親和性が高い」「一人では出来なくても仲間で解決する」等、私達の活動は持続可能な社会を築くことに繋がっていると、自らの手で地域を輝かせ、そして自ら輝いていく必要性があるとの事だそうです。今後、この新型コロナウイルス感染症がどの様な形になっていくのか、いつ終息出来るのかわかりませんが、先は一人一人が我が身を守るため、大変ですが我慢耐の日々を過ごすことだと思えます。頑張りましょう。

新型コロナウイルス感染症が落ち着き活動が出来る様になりましたら、組合員、各関係機関の皆様にご理解、ご協力、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

本年も皆様におかれましては、心身ともに健やかで、幸多き年でありませぬ事をご祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。



## 建物更生共済

# 予測できない

「自分」は、「我が家」は、「大丈夫」と考えていませんか？

# 自然災害。

起こってしまったからでは遅い自然災害！ もう一度備えについて確認してみませんか？

詳しくはJAしずない共済課まで(TEL 0146-42-1053)



## サブノジュニア号

# 第20回JBCスプリント競走を制す

(有)藤沢牧場 生産

11月3日、東京の大井競馬場で開催された「第20回JBCスプリント競走(G1)」(ダート1200m)で(有)藤沢牧場生産のサブノジュニア号(牡6歳、父 サウスヴィグラス、母 サブノイナズマ 大井所属)がG1で初勝利を挙げました。

サブノジュニア号は前走こそ5着だったものの、その前の3戦において全て勝ち星を挙げており、最後に4馬身の差をつけ大勝や逃げる馬を差し切るなど、最後の伸びが印象的な勝ち方をしていきます。本走は中団やや前辺りに待機し、残り200mから抜群の伸びを見せ、1馬身以上の差をつけて



見事勝利しました。

誕生から約1年半世話をした、(有)藤沢牧場の常務、藤沢亮輔さんは「出走馬の顔ぶれを見ると、前が速くなることは確実視されていたため、サブノジュニアの強みである末脚がより生きる展開になると思っていました。前々走では後方から最後の直線で差し切れましたが、前走のように中央馬が相手となると届かなかったので、この反省を生かし、本走はやや前目で競馬が出来たので最後に差し切れたと思います。それなりに自信はありました。」とのことでした。



(有)藤沢牧場 常務  
藤沢 亮輔さん

本馬のエピソードとしては「本当に怪我也病気もせず、ずっと放牧していました。また、馬房に入れた記憶がほとんどなく、月1回の削蹄の際に見るくらいでした。気性が悪いわけでもなく、非常に扱いやすく身体も立派でコンディションが落ちることなく順調に成長した印象です。夜間放牧している際に近くの牧場の方に馬が脱走していると教えて頂いたことがあり、それがサブノジュニアでした。おそらく鹿に驚いたのだと思いますが、放牧地の出入り口にある単管を曲げて脱走しており、怪我こそなかったものの、元の放牧地に戻れずにいたことがあったくらいです。」とのことでした。



サブノジュニア号  
写真提供 産経新聞

きてG1を勝ったというだけで、サブノジュニアの礎となる繁殖牝馬は当社の藤沢澄雄社長が導入し、それを気に入ってくれた馬主さんがおり、そこから代々交配を重ね30年かけて生まれたのが本馬です。私は飼養管理において個性を出し、その中でトップを取るものが出来るということが、この仕事の醍醐味だと思っています。ただ、私たちだけの力で馬が走るようになつたという実感はなく、サブノジュニアに関わった調教師さんや騎手、多くの方々の方も大きいです。そして、なによりも馬主さんの執念に感動しました。昔から当社の生産馬で大きいレースを勝ちたいと言って頂いており、3代も前から交配を重ね、ようやく結果が実り本当に良かったです。」と話していました。



母馬 サブノイナズマ号  
お昼寝中です



## 年末・年始業務日程

| 区分               | 12月   |   | 1月        |           |           |           |           |                    |                    |
|------------------|---|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------------|--------------------|
|                  | 30日<br>(水)  | 31日<br>(木)  | 1日<br>(金) | 2日<br>(土) | 3日<br>(日) | 4日<br>(月) | 5日<br>(火) | 6日<br>(水)          |                    |
| 下記以外の業           | 平常営業<br>8:30~17:00  | <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;"> <b>休日の車の事故受付は下記までご連絡下さい。</b><br/> <b>24時間・365日の安心サポート!</b><br/>           JA共済 事故受付センター  ジコは クミアイ <b>0120-258-931</b> </div> |           |           |           |           |           | 平常営業<br>8:30~17:00 |                    |
| 金融店舗             | 平常営業<br>8:30~15:00  |   |           |           |           |           |           | 平常営業<br>8:30~15:00 |                    |
| ※ATM 本所          | ATM<br>8:30~18:00   | <b>休 業</b>  |           |           |           |           |           | ATM<br>8:30~18:00  |                    |
| ※ATM 豊畑          | ATM<br>8:30~15:00   |   |           |           |           |           |           | ATM<br>8:30~17:00  | ATM<br>8:30~18:00  |
| ※ATM 東静内         | ATM<br>8:30~15:00   |   |           |           |           |           |           | ATM<br>8:30~17:00  |                    |
| Aコープ<br>しずない店    | 営業<br>8:30~17:00  |   |           |           |           |           |           | 営業<br>8:30~17:00   | 平常営業<br>8:30~18:00 |
| 本所給油所            | 営業<br>7:30~17:00  |   |           |           |           |           |           | 営業<br>8:30~17:00   | 平常営業<br>7:30~18:00 |
| 事業所給油所           | 平常営業<br>8:30~17:00  |   |           |           |           |           |           | 平常営業<br>8:30~17:00 |                    |
| 日高中部農協<br>機械センター | <b>休業 12月30日(水)~1月7日(木)</b><br>自動車の事故処理(レッカー搬送)は、24時間受付しております。 TEL 0146-42-7051 |   |           |           |           |           |           |                    |                    |

## 令和3年 地区別懇談会日程表

令和3年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。  
 組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

| 月日           | 時間                  | 農事組合名  | 会場           |
|--------------|---------------------|--|--------------|
| 1月20日<br>(水) | 午後5時30分<br>~午後8時00分 | 静内一・駒場・中野一・中野二・神森<br>昭和・真歌・有勢内・目名・田原<br>田原高台・桔梗・親和 | 生産連ビル<br>3F  |
| 1月21日<br>(木) | 午後5時30分<br>~午後8時00分 | 御園・農屋・豊畑一・豊畑二・豊畑三<br>上豊畑・豊畑振興                      | 豊畑生活館        |
| 1月22日<br>(金) | 午後1時30分<br>~午後4時00分 | 春立・東別一・東別二・東別三                                     | 東別生活<br>センター |
|              | 午後5時30分<br>~午後8時00分 | 浦和・あざみ・東静内・あけぼの・川合一<br>川合二・川合三・西川一・西川二・西川三         | 川合生活館        |

※ご自身の地区で都台のつかない方は、ご都台のつく地区でのご出席をお願い致します。